

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地														
麻生医療福祉専門学校 福岡校		平成9年2月13日	瀧口 博俊		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-12-29 (電話)092-415-2294														
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地														
学校法人麻生塾		昭和26年3月12日	麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話)0948-25-5999														
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士													
商業実務	商業実務専門課程	診療情報管理士科			平成21年文部科学省 告示第21号	—													
学科の目的	医療現場で必要な診療録を正確に管理・分析するために必要な医療の知識を幅広く学び、診療情報管理士の取得を目指す。また、パソコン利用の知識と技術を身につけ、多量の診療記録を管理し、加工できる人材を育成する。																		
認定年月日	平成26年3月31日																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技												
	3 年 昼間							2,530時間	1,762時間	648時間	120時間	0時間	0時間						
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)		専任教員数	兼任教員数	総教員数													
60人	43人	0人		3人	19人	22人													
学期制度	■前期:4月1日～9月11日 ■後期:9月12日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各期毎5段階にて評価 担当教員が定期試験、出席等の状況をもとに評価														
長期休み	■夏季:8月8日～9月11日 ■冬季:12月24日～1月9日 ■春季:2月27日～4月4日			卒業・進級条件	ア.指定科目全ての修得 イ.学年の出席率90%以上 ウ.卒業基準検定の取得 エ.学生としてふさわしい生活態度														
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ガイダンスの実施。学科責任者との面談、三者面談の実施。			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有														
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) 病院・クリニック・調剤薬局			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年4月1日時点の情報)														
	■就職指導内容 企業(就職先)から求められるものや、心構えについて。 また就職・業界の理解と自分の適性と職業選択、自己分析や履歴書、面接指導の徹底を行う。				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財)診療報酬請求事務能力認定試験</td> <td>③</td> <td>23人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>日本病院会認定診療情報管理士認定試験</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	財)診療報酬請求事務能力認定試験	③	23人	16人	日本病院会認定診療情報管理士認定試験	③	22人	12人
	資格・検定名	種別	受験者数		合格者数														
	財)診療報酬請求事務能力認定試験	③	23人		16人														
日本病院会認定診療情報管理士認定試験	③	22人	12人																
■卒業業者数 : 23 人 ■就職希望者数 : 22 人 ■就職者数 : 22 人 ■就職率 : 100 % ■卒業業者に占める就職者の割合 : 95.7 %			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																
■その他 (令和3年度卒業生に関する令和4年4月1日時点の情報)			■自由記述欄 特になし																
中途退学の現状	■中途退学者 1名 令和3年5月1日時点において、在学者 56名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者 55名(令和4年3月31日卒業生を含む)		■中退率 2%																
	■中途退学の主な理由 精神的要因を起因とする健康上の問題 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による要因を抱えた学生に対する個別面談。学生の情報を教員間で共有しながらの検討会の実施。 学科責任者や保護者を含めての面談。ガイダンス記録による報告。																		
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 兄弟姉妹・親子入学支援金、再進学支援金、自然災害発生に伴う支援制度 特待生制度(学力面、人物面、資格などにより優秀と認められた者に対し、授業料を減免する) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																		
当該学科のホームページURL	https://asojuku.ac.jp/amfc/clinic/																		

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

診療情報管理士の取得を目的とした病院会から指定されたカリキュラムで授業科目を編成。医療現場で必要な診療録を正確に管理・分析するために必要な医療の知識を幅広く学び、パソコン利用の知識と技術を身につけ、多量の診療記録を管理・加工できる人材を育成する。また、実習先(医療機関)へのヒアリングをもとに、指定カリキュラムでは不足している知識や技術を補完するための科目を追加、改善するなどし、現場のニーズに即した授業科目の編成を行う。

実習においては、県内にとどまらず複数の実習施設と密に連携・調整しており、実習中および実習後は、担当教員や就職担当者が実習施設の担当者と意見交換を行い本校教育にフィードバックする。また、就職先に実施するお客様アンケートにより現場のニーズを把握し科目編成に生かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。委員会は、次の事項を審議し、会議の結果を学科内でのカリキュラム会議に報告する。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

また、カリキュラム会議においては、教育課程委員会からの意見を参考に学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し、策定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
潮田 大介	(有)ケンルック 事務長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	③
矢島 博仁	公立学校共済組合 九州中央病院 事務部長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	③
副島 和代	そえじま内科クリニック 事務長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	③
井上 将彦	(医)聖峰会 聖峰会マリン病院 事務長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	③
西山 謙	(公社)福岡県病院協会 診療情報管理研究研修会 委員長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日(1年)	①
前田 浩明	麻生医療福祉専門学校福岡校 主任		
高田 ゆかり	麻生医療福祉専門学校福岡校 リーダー		
中嶋 翔平	麻生医療福祉専門学校福岡校 サブリーダー		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 6月・2月

(開催日時)

第1回 令和3年6月26日(土)14:00～15:00

第2回 令和4年2月25日(金)16:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

全国がん登録は2016年から始まっており、知識は医療現場で十分役に立つし、電子カルテでのオートコーディングも主流になってきているため、診療情報管理士のスペシャリスト的な要素として必要と思われる。という意見をいただき、既存のコマのなかでの数回の学習を改め、「がん登録」という科目を新設した。
また、2021年度の病院実習の実施の可否について、当初予定していた9月の実施は、ワクチン接種2回目が本格的に始まる時期と重なることから、時期をずらして実施が望ましいという意見をいただき、1月に延期することとしたが、結果としてはその後も実施できなかった。今年度に延期として、6月中旬に病院での実習を全員終了している。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

診療情報管理実習では、即戦力人材の育成として、実際の現場で行われる診療録管理の経験をするを目的としている。特に、実際の診療録からのコーディング作業や診療録のアリバイ管理は現場でなければ経験できない業務のため、現場での実習を行うことが不可欠となる。また、医師、看護師など現場のスタッフと連携をとって業務を行うためのコミュニケーション能力の必要性を体感し、向上に努めるきっかけとする。

実習依頼は、少なくとも専任の診療情報管理士が1名以上配置されており診療録管理体制加算の設置基準を満たしている医療機関を対象に行うこととする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

効果的な実習を実現するため、実習前には実習担当者(医療機関)と、現場で求められるスキル、資格などの確認を行い、学生の実習目標を定め実施する。実習期間中は、実習指導者とのヒアリングを行い、学生の能力が向上するよう効果的に学生への助言・指導を実施する。実習終了後、実習担当者(医療機関)と連携して目標達成に関する評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
病院実習	医療現場において、外来受付や診察券の作成、コンピュータ端末入力など、患者様とのふれあいや、実際の診療情報管理の業務を体験することにより、就職後の業務に即対応できる知識と技術を身につける。	社会医療法人青洲会 福岡青洲会病院 医療法人輝栄会 福岡輝栄会病院 医療医療法人 聖峰会 マリン病院 他

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る、職務の遂行に必要な知識・技能を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が、計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:「医療事務系ブラッシュアップセミナー」(連携企業等:全国専門学校教育研究会)
期間:令和4年2月21日、22日 対象:専任教員1名
内容:学内実習コンテンツ作成/医薬品登録販売者資格導入学科の設立経緯を知る/
医療事務系学科の今後の展開について

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「個別対応力研修」(連携企業等:組織デザイン・ラボ)
日時:令和3年8月18日(水)16時00分~17時30分 対象:専任教員1名
内容:学生の行動や人との関わり方の特徴に合わせた効果的な話し方ができるようになる
1.人との関わり方や考え方による4つのタイプを知る
2.タイプ別の対応方法(効果的な叱り方、褒め方、提示の方法など)を知る。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:「第48回 日本診療情報管理学会 学術大会」(連携企業等:日本診療情報管理学会)
期間:令和4年9月8日～9日 対象:専任教員1名
内容:最先端の診療情報管理技術について学び、今後の教育や試験対策、就職指導等に活用する

研修名:「診療情報管理士教育事業に関する説明会」(連携企業等:一般社団法人 日本病院会)
期間:令和4年6月24日 対象:専任教員1名
内容:診療情報管理士認定試験について

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「ブレンディッドラーニング」(連携企業等:デジタルハリウッド株式会社)
期間:令和4年8月23日(火)13時30分～15時 対象:専任教員1名
内容:学生の能動学習を浸透・深化させるためのブレンディッド学習の理論と事例を学ぶ

研修名「授業におけるファシリテーション」(連携企業等:組織デザイン・ラボ)
期間:令和4年8月31日(水)13時30分～15時30分 対象:専任教員1名
内容:オンライン授業におけるファシリテーションスキルを学ぶ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正に行われているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりを行う。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、人事・給与規程、業務効率化、他
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5) 学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11) 国際交流	留学生の受入れ、支援体制

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

コロナ禍によって、就職活動の変容は昨年度に増して大きくなっている。異業種からの求職者が多く発生する懸念があり、コミュニケーションの高い学生は、医療事務の専門性が無くても採用が決まる傾向がある。特に航空業界、旅行業界の求人が少ないため、それらの業界の求職者が事務分野への進出を考える可能性が高くなっている。異業種からの人材流入に対抗する点からも、診療情報管理士は、専門分野としての資格のアピールや、更なるコミュニケーション力の向上を意識させることが大切であるとのご意見をいただいた。これらを就職活動に活用するために、専門科目習得の強化はもとより、就職活動でのオンラインツールの活用指導、面接指導においては対話力を強化するよう努め、就職課とも共有を図った。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
天野 恵	(福)まごころ会 あゆみらい保育園 園長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
桑原 由美子	(NPO)発達障がい者就労支援ゆあしっふ 理事長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
武田 聡	(NPO)木もれ日 カフェ ヒュッテ 施設長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
江川 順一	(福)つくし福祉会 特別養護老人ホーム はなつくし 施設長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
大庭 欣二	(同)福岡福祉向上委員会 代表	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
占部 尊士	(学)永原学園 西九州大学 准教授	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	有識者
大澤 利通	(公社)福岡県介護福祉士会 理事	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	企業等委員
大山 和宏	(一社)福岡県精神保健福祉士協会 会長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
潮田 大介	(有)ケンルック 事務長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
副島 和代	そえじま内科クリニック 事務長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
井上 将彦	(医)聖峰会 マリン病院 事務長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
矢島 博仁	公立学校共済組合 九州中央病院 事務部長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	企業等委員
西山 謙	(公社)福岡県病院協会 診療情報管理研究研修会 委員長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	企業等委員
熊谷 智彦	(学)久留米学園 久留米学園高等学校 校長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	高校関係者
高田 照幸	株式会社 たかた商会 代表取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	地域住民
濱町 団	福祉心理学科	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	PTA
原岡 泰子	こども未来学科	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	PTA
宮井 浩志	社会福祉科 平成15年度卒業生	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	卒業生
田中 隼平	心理カウンセラー科 平成26年度卒業生	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	卒業生
中井 志帆	診療情報管理士科 平成24年度卒業生	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/amfc/2021/hvoka.pdf>

公表時期: 令和4年5月18日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、ASOの考え方、5つの特色
(2)各学科等の教育	入学者受け入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、国家資格・検定実績、就職実績
(3)教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート、留学生学習・生活サポート、留学生就職サポート
(7)学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援、各種支援制度
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生入学案内、留学生募集分野、グローバル教育
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(学生便覧)

URL: <https://asojuku.ac.jp/amfc/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 診療情報管理士科) 令和4年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			医療事務（医科） I A-①	診療報酬請求事務（医科）に関する基礎知識の習得を図る。	1前	60		○			○		○		
○			医療事務（医科） I A-②	診療報酬請求事務（医科）に関する基礎知識の習得を図る。	1前	90		○			○		○		
○			医療事務（医科） I B-①	診療報酬請求事務（医科）に関する基礎知識の習得を図る。	1後	60		○			○		○		
○			医療事務（医科） I B-②	診療報酬請求事務（医科）に関する基礎知識の習得を図る。	1後	90		○			○		○		
○			病院管理 B	病院事務現場の基礎的認識から医療保険制度までを学ぶ。	1後	30		○			○		○		
○			コンピュータ概論 I A	業務遂行能力、および情報処理に関する知識と技術の総合力を高め、ITパスポート試験および医療情報技師合格を目指す。	1前	76			○		○		○		
○			コンピュータ概論 I B	業務遂行能力、および情報処理に関する知識と技術の総合力を高め、ITパスポート試験および医療情報技師合格を目指す。	1後	76			○		○		○		
○			一般常識 I B	小論文、学習日誌を通し、文書作成能力をレベルアップする。	1後	30		○			○			○	
○			Windows演習（Word基礎）	パソコン全般の基本操作を学び、Word検定3級合格を目指す。	1前	60			○		○			○	
○			Windows演習（Excel基礎）	パソコン全般の基本操作を学び、Excel検定3級合格を目指す。	1前	60			○		○			○	
○			自己表現法 A	人前で話すことに慣れ、自分で考え自分の言葉で論理的・個性的に表現できるようにする。	1前	30			○		○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 数	授 業 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			解剖生理学	解剖生理学を中心に、人間の身体の仕組みや働き・名称などを実務に即して学ぶ。	1前	30		○			○			○	
○			G C B I	「感謝と思いやり」をテーマに、人間力、集団力、マナーの本質、行動力を学ぶ。	1後	16		○			○		○		
○			接遇演習 I B	社会人として、必要なマナー、ルールを身につける。	1後	30			○		○				○
○			医療管理各論 I・II	資格取得の基本となる医療管理論／医療管理各論の習得を目指す。	1前	46		○			○				○
○			医療概論／人体構造・機能論／臨床医学総論Ⅲ	資格取得の基本となる医学知識・医療総論の習得を目指す。	1後	60		○			○				○
○			臨床医学総論／臨床医学各論 I／臨床医学各論 II	資格取得の基本となる医学知識の習得を目指す。	1後	60		○			○				○
○			医療事務（医科）Ⅱ A	診療報酬請求事務（医科）に関する応用知識の習得およびDPCの基礎知識の習得を図る。	2前	30		○			○			○	
○			医療事務（医科）Ⅱ B	診療報酬請求事務（医科）に関する応用知識の習得およびDPCの基礎知識の習得を図る。	2後	30		○			○			○	
○			コンピュータ概論Ⅱ A	業務遂行能力、および情報処理に関する知識と技術の総合力を高め、ITパスポート試験および医療情報技師合格を目指す。	2前	30		○			○			○	
○			コンピュータ概論Ⅱ B	業務遂行能力、および情報処理に関する知識と技術の総合力を高め、ITパスポート試験および医療情報技師合格を目指す。	2後	30		○			○			○	
○			一般常識Ⅱ A	文書読解力、基礎教養のレベルアップを図る。	2前	30		○			○				○
○			一般常識Ⅱ B	基礎教養、時事教養のレベルアップを図る。	2後	30		○			○				○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Windows演習 (Excel応用①)	Excelの応用操作を学び、Excel検定2級を目指す。	2前	30		○			○				○
○			Windows演習 (Powerpoint)	PowerPointの基本操作を学び、プレゼンテーション基礎を学ぶ	2前	30		○			○				○
○			Access演習ⅡB	Accessの応用操作を学び、Access2級合格を目指す。	2後	60		○			○				○
○			接遇演習ⅡA	社会人として、必要なマナー、ルールを身につける。	2前	30		○			○				○
○			接遇演習ⅡB	社会人として、必要な幅広い知識をさまざまな実践を通し身に付けさせる。	2後	30		○			○				○
○			レセプトコンピュータⅡB	レセプトコンピュータにて、医療費の計算、明細書の発行、処方箋、領収書の発行を習得する。	2後	30		○			○			○	
○			GCBⅡ	「感謝と志」をテーマに、人間力、集団力、マナーの本質、行動力を学ぶ。	2前	16		○			○			○	
○			分類基礎演習	資格取得の基本となる国際疾病分類概論の習得を目指す。	2前	16		○			○			○	
○			就職実務ⅡB	就職へ向けての動機付けを行い、翌年の活動本番に向けての諸準備を行う。	2後	30		○			○			○	
○			医療管理総論/医療管理各論Ⅲ	資格取得の基本となる医療管理論/医療管理各論の習得を目指す。	2前	46		○			○			○	
○			臨床医学各論Ⅳ・Ⅶ/医学・医療用語	資格取得の基本となる医学知識の習得を目指す。	2前	60		○			○			○	
○			臨床医学各論Ⅴ・Ⅵ・Ⅷ	資格取得の基本となる医学知識の習得を目指す。	2後	60		○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			診療情報管理論 I・II・III/国際 統計分類 I	資格取得の基本となる診療情報管理論および国際統計分類法の習得を目指す。	2 後	76	○			○			○	
○			保健医療情報学/ 医療統計 I・II	資格取得の基本となる保険医療情報学および医療統計学の習得を目指す。	2 後	60	○			○		○	△	
○			国際統計分類 II - ①	資格取得の基本となる国際疾病分類法の習得を目指す。	2 後	60	○			○			○	
○			医療事務（医科） III A	DPC算定方法の応用知識の習得を図る。	3 前	60	○			○		○		
○			医療事務（医科） III B	DPC算定方法の応用知識の習得を図る。	3 後	30	○			○		○		
○			コンピュータ概論 III A	医療情報システムについて学び、医療情報基礎知識検定合格を目指す。	3 前	16	○			○		○		
○			介護保険	介護保険の仕組みについての基礎知識を学ぶ。	3 前	30	○			○			○	
○			Windows演習（Excel応用②）	Excel応用操作を学び、Excel検定1級を目指すとともに、実務レベルの操作技術を身に付ける。	3 前	60		○		○			○	
○			Windows演習（実践）	Excel応用操作を学び、関数を使った複合的な資料作成でき、実務活用レベルの向上を図る。	3 後	30		○		○			○	
○			就職実務 III A	全員の就職内定を目標に、情報提供や各種文書作成・面接指導を行う。	3 前	30	○			○		○		
○			就職実務 III B	全員の就職内定を目標に、情報提供や各種文書作成・面接指導を行う。	3 後	30	○			○		○		
○			Access演習 III A	Accessの応用操作を学び、Access 2級合格を目指す。	3 前	30		○		○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Access 演習ⅢB	Accessの応用操作を学び、Access 2級合格を目指す。	3後	30		○			○			○	
○			国際統計分類Ⅱ - ②	資格取得の基本となる国際疾病分類法の習得を目指す。	3前	30		○			○				○
○			がん登録	標準的な院内がん登録の実施に必要な知識や技能の習得を目指す。	3前	30		○			○				○
○			レセプトコンピューターⅢA	レプトコンピューターにて、医療費の計算、明細書の発行、処方箋、領収書の発行を習得する。	3前	16		○			○			○	
○			病院実習	医療機関で診療情報管理を実習することで、実際の現場を知り、診療情報管理士への理解を深める。	3前	120					○		○	○	○
○			診療情報管理士試験対策A	診療情報管理士認定試験合格に向けて、総合問題演習を行う。	3前	90		○			○			○	
○			診療情報管理士試験対策B	診療情報管理士認定試験合格に向けて、総合問題演習を行う。	3後	150		○			○			○	
○			卒業研究	医療業界を取り巻く環境や将来への課題等をテーマに論文を作成し、既学習内容の総まとめを行う。	3後	30		○			○			○	
合計					53科目		2530時間								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<ul style="list-style-type: none"> 各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。 卒業基準検定を取得していること。 学年の出席率が90%以上であること。 学生としてふさわしい生活態度であること。 	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週